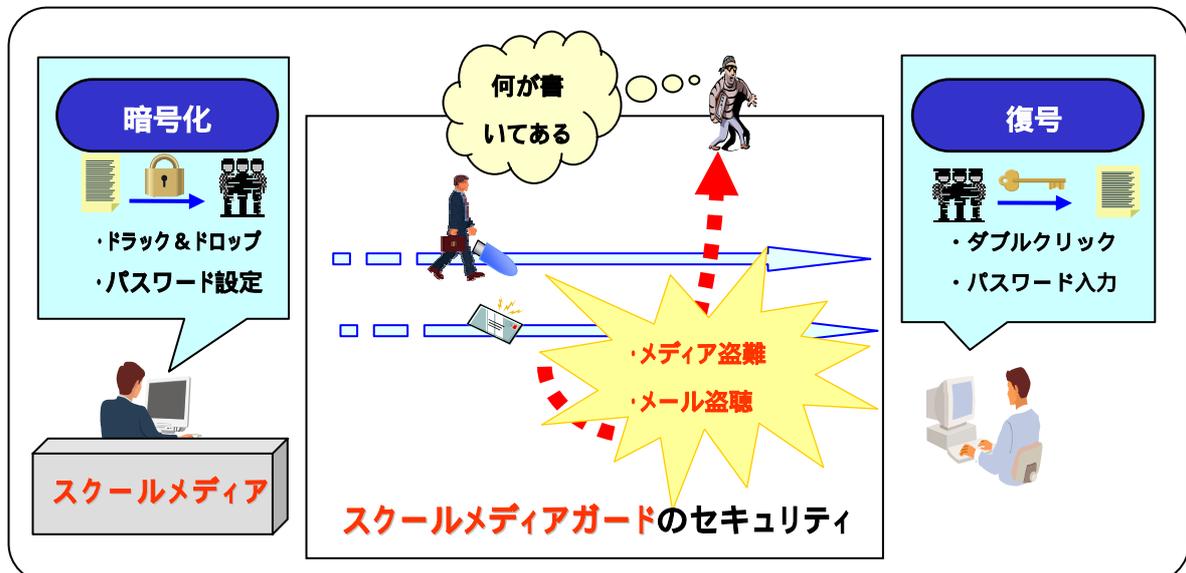


スクールメディアガード

取扱い資料

目次

1. インストール方法
2. アンインストール方法
3. 操作方法
 - 3.1 秘文機密ファイルの暗号化
 - 3.1.1 秘文機密ファイルとは
 - 3.1.2 自己復号型機密ファイル作成方法
 - 3.1.3 秘文機密ファイル作成方法
 - 3.2 秘文機密ファイルの復号
 - 3.2.1 自己復号型機密ファイルの復号方法
 - 3.2.2 機密ファイルの復号方法



【スクールメディアガード】

はじめに

このセールスガイドは、「スクールメディアガード」（以降 JP1/秘文 File Encryption と表記）のインストール方法、アンインストール方法、操作方法について説明したものです。

1. インストール方法

手順

1. セットアッププログラムの実行

JP1/秘文 File Encryption のインストール CD の `setup.exe` をダブルクリックします。

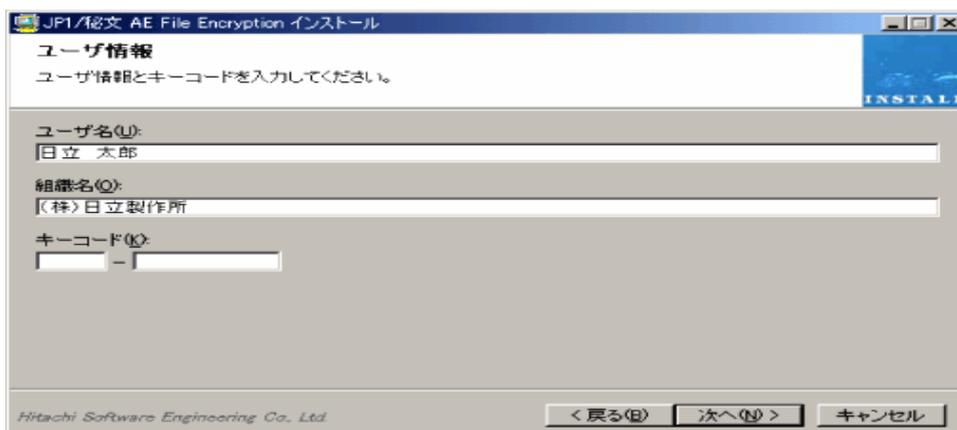
2. ようこそ画面

[次へ] ボタンをクリックします。



3. ユーザ情報

JP1/秘文 File Encryption にユーザ情報を入力します。ユーザ名、組織名およびキーコードを指定して、[次へ] ボタンをクリックします。



ユーザ名

JP1/秘文 File Encryption を使用するユーザ名を指定します。

組織名

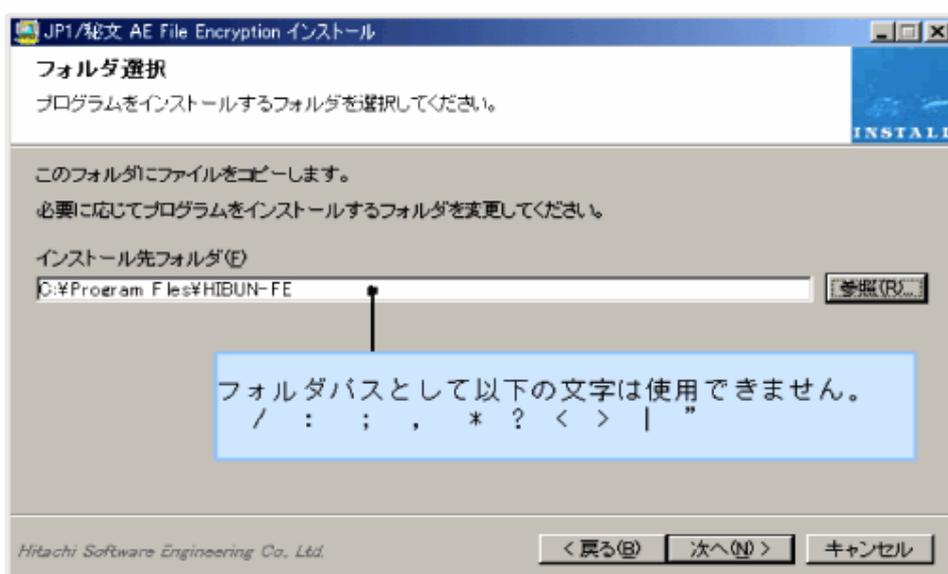
JP1/秘文 File Encryption を使用するユーザが所属する組織名（会社名など）を指定します。

キーコード

JP1/秘文 File Encryption インストール用のライセンスキーを入力します。

4. フォルダ選択

JP1/秘文 File Encryption のインストール先フォルダを [インストール先フォルダ] 欄に指定します。パスを直接入力するか、[参照] をクリックしてフォルダを選択してください。その後、[次へ] ボタンをクリックしてください。



インストール先フォルダ

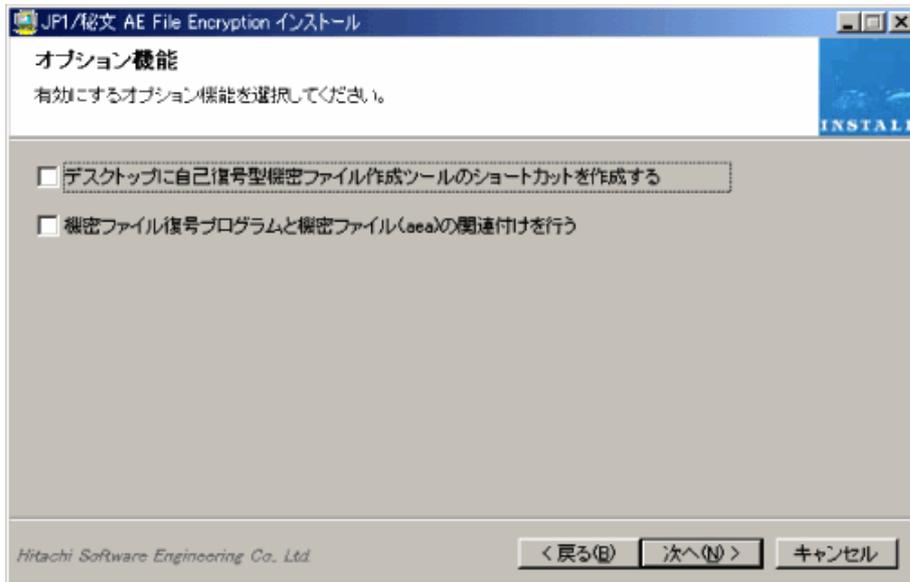
パス名に指定できる文字数は、半角は 1 文字、全角は 2 文字と計算し、合計 99 文字以内です。既存のフォルダを指定する場合は、ファイルまたはサブフォルダを含まないフォルダを指定してください。また、存在しないフォルダを指定する場合は、インストール先フォルダと同じ名称のファイルがないことを確認してください。

なお、デフォルトのインストール先フォルダは次のようになります。

OS のインストールドライブ¥Program Files¥HIBUN-FE

5. オプション機能

JP1/秘文 File Encryption のオプションを設定します。必要な項目を設定して、[次へ] ボタンをクリックしてください。



デスクトップに自己復号型機密ファイル作成ツールのショートカットを作成する

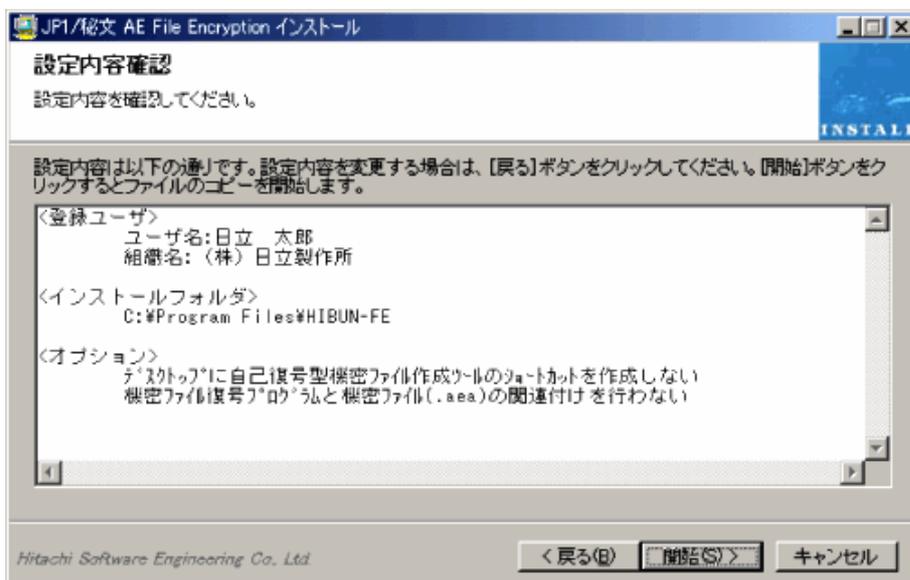
このチェックボックスをオンにすると、JP1/秘文 File Encryption をインストールした PC のデスクトップに自己復号型機密ファイル作成ツールのショートカットを追加します。

機密ファイル復号プログラムと機密ファイル(.aea)の関連付けを行う

このチェックボックスをオンにすると、機密ファイル(拡張子.aea)について、アプリケーションの関連付けを行います。

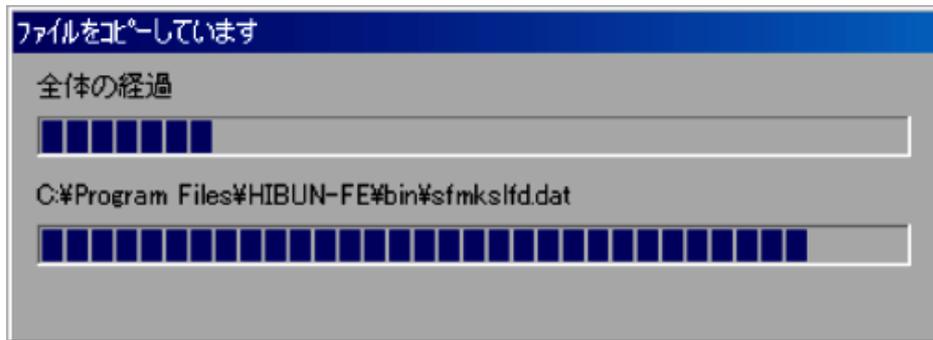
6. 設定内容確認

手順 3~5 で設定した内容が表示されます。内容を確認して [開始] ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。



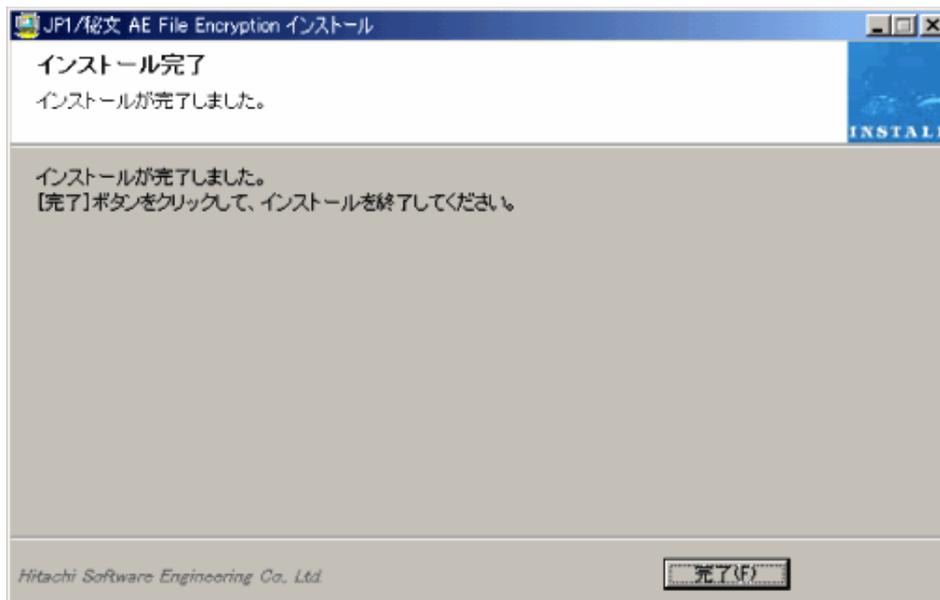
7. ファイルのコピー

ファイルがコピーされます。



8. インストール完了

インストールが正常に完了するとこの画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックしてください。



2. アンインストール方法

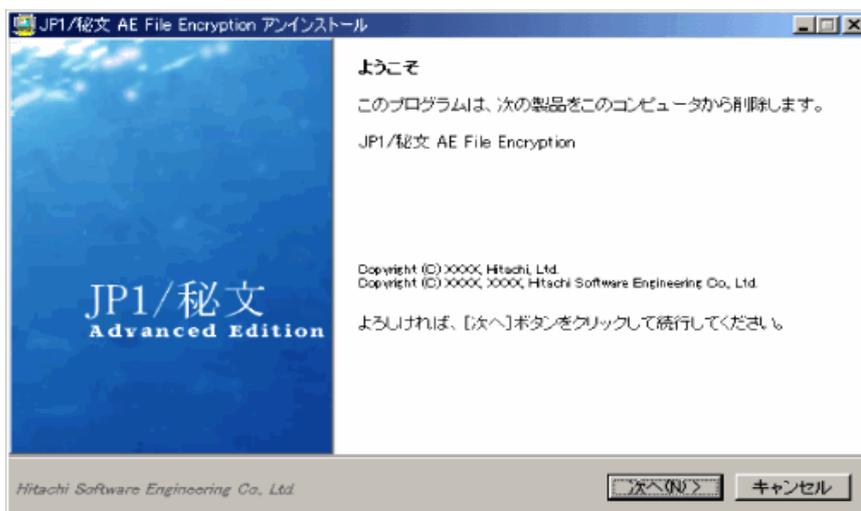
手順

1. アプリケーションの追加と削除

[マイコンピュータ] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除]を開きます。
「現在インストールされているプログラム」の一覧から [JP1/秘文 AE File Encryption] を選択し、[変更と削除] をクリックします。

2. ようこそ画面

[次へ] ボタンをクリックしてください。

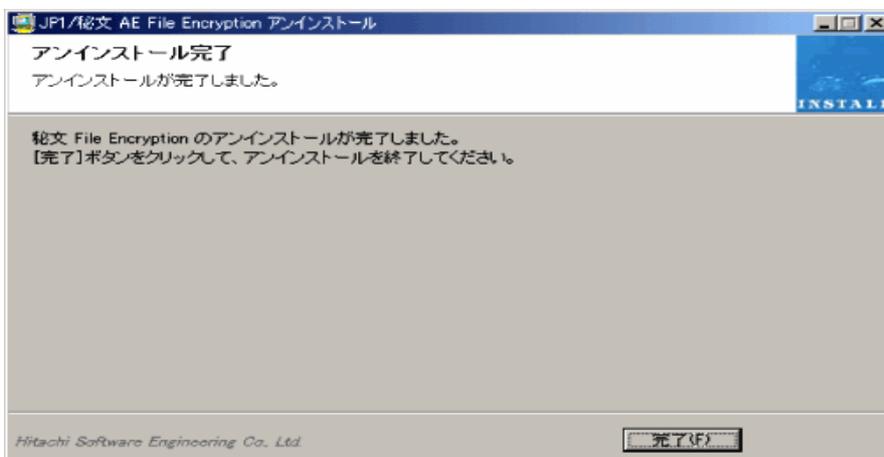


3. ファイル削除

ファイルが削除されます。

4. アンインストール完了

アンインストールが正常に完了するとこの画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックしてください。



3 . 操作手法

3 . 1 秘文機密ファイルの暗号化

3 . 1 . 1 秘文機密ファイルとは

秘文機密ファイルには、自己復号型機密ファイルと機密ファイルの二種類があります。

- 自己復号型機密ファイル

自己復号型機密ファイル作成ツールで暗号化したファイルのことです。自己復号型機密ファイルには復号プログラムが含まれています。

自己復号型機密ファイルは、次に示すアイコンで表示されます。



自己復号型機密ファイルは、ファイルを実行して単独で復号できるため、送付先のアプリケーションの環境に関係なく復号できます。

- 機密ファイル

自己復号型機密ファイル作成ツールの作成時のオプション設定で暗号化したファイルのことです。機密ファイルには復号プログラムは含まれていないため、復号するには機密ファイル復号プログラムが必要になります。

機密ファイルは、次に示すアイコンで表示されます。



3 . 1 . 2 自己復号型機密ファイル作成方法

(1) 自己復号型機密ファイル作成ツールの起動

自己復号型機密ファイル作成ツールは次のどれかの方法で起動できます。

- スタートメニューから

スタートメニューから [プログラム] - [JP1_秘文 AE File Encryption] - [自己復号型機密ファイル作成] を選択します。

- デスクトップのショートカットから

暗号化するファイルやフォルダをデスクトップ上の「自己復号型機密ファイル作成ツール」のショートカットへドラッグ&ドロップします。

3.1.3 秘文機密ファイル作成方法

(1) 作成手順

手順

1. 自己復号型機密ファイル作成ツールを起動します。起動方法は「(1) 自己復号型機密ファイル作成ツールの起動方法」を参照してください。

自己復号型機密ファイル作成ツール画面が表示されます。

スタートメニューから起動した場合は、自己復号型機密ファイル作成ツール画面に暗号化するファイルまたはフォルダをドラッグ&ドロップします。



フォルダ

秘文機密ファイルを保存するフォルダを指定します。

[フォルダ]の欄に保存先フォルダのパスを入力するか、[参照]ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。

ファイル名

秘文機密ファイルとして出力するファイルのファイル名を指定します。

デフォルトでは、「元のファイル(フォルダ)名.exe」というファイル名で出力されます。デフォルトのファイル名を変更する場合は、必ず末尾に拡張子を付けてください(例: プレゼン資料.ppt.exe)。パスを含むファイル名も指定できます(例: work\data/プレゼン資料.ppt.exe)。指定したフォルダがない場合、エラーになります。存在するフォルダを指定してください。

パスワード

6文字以上31文字以内の半角英数字または記号を入力します。使用できる文字については、下記の表を参照してください。

入力項目	使用可能な文字
パスワード	<ul style="list-style-type: none"> 英字：大文字の A～Z および小文字の a～z 数字：0～9 記号：次に示す記号を使用できます。 ! " # \$ % & ' () * + , (カンマ) - (ハイフン) . (ピリオド) / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ (アンダーバー) ` { } ~

再入力

確認のため、[パスワード]と同じパスワードを入力してください。

オプション

秘文機密ファイルについての詳細なオプションを設定します。

オプションの設定項目については、「(3) オプション設定」を参照してください。

2. 秘文機密ファイルとして出力するファイル名と、復号するために必要なパスワードを設定します。



3. 入力した情報を確認し、[作成] ボタンをクリックします。

秘文機密ファイルの作成が終了すると、秘文機密ファイル生成完了画面が表示されます。

なお、[キャンセル] ボタンをクリックすると、作成処理を中止してツールを終了します。



4. [OK] ボタンをクリックしてください。

作成した秘文機密ファイルが自己復号型だった場合、次に示すアイコンで表示されます。



(3) オプション設定

自己復号型機密ファイル作成ツール画面で [オプション] ボタンをクリックすると、秘文機密ファイルについて次のオプションを設定できます。

- 展開時の動作（秘文機密ファイルの有効期限の設定など）
- 属性（展開時のメッセージの言語の設定）
- 作成時の動作（デフォルトの拡張子の設定、復号プログラムを含まない機密ファイルの作成など）
- 圧縮（圧縮形式の設定など）

この設定内容は一部の設定を除いて次回以降も引き継がれます。

(a) 展開時の動作

（展開時オプションの設定）

秘文機密ファイルを実行したフォルダ

秘文機密ファイル復号時に、秘文機密ファイルが存在するフォルダと同じフォルダに展開します。

展開するフォルダを指定

秘文機密ファイル復号時にファイルを展開するフォルダをあらかじめ設定できます。

復号時に変更不可

[展開するフォルダを指定] でフォルダ名を指定した場合、秘文機密ファイル復号時に展開先のフォルダを変更できないようにすることができます。

入力したパスワードが間違っている場合はファイルを自動的に削除する

秘文機密ファイル復号時に入力したパスワードが指定回数間違っていた場合、ファイルは自動的に削除されます。設定できる回数の上限は 30 回です。ドロップダウンリストボックスから回数を選択するか、1～30 までの値を半角文字で入力してください。

入力したパスワードが合っている場合は回数を元に戻す

入力されたパスワードが正しい場合は、パスワード失敗回数を 0 回に戻します。

書き込み保護メディア上では展開できないようにする

次のような場所で秘文機密ファイルを復号した場合、エラーメッセージが表示されて復号が中止されます。

- ライトプロテクトされているメディア
- 追記できない状態の CD/DVD メディア
- アクセス許可されていないフォルダ

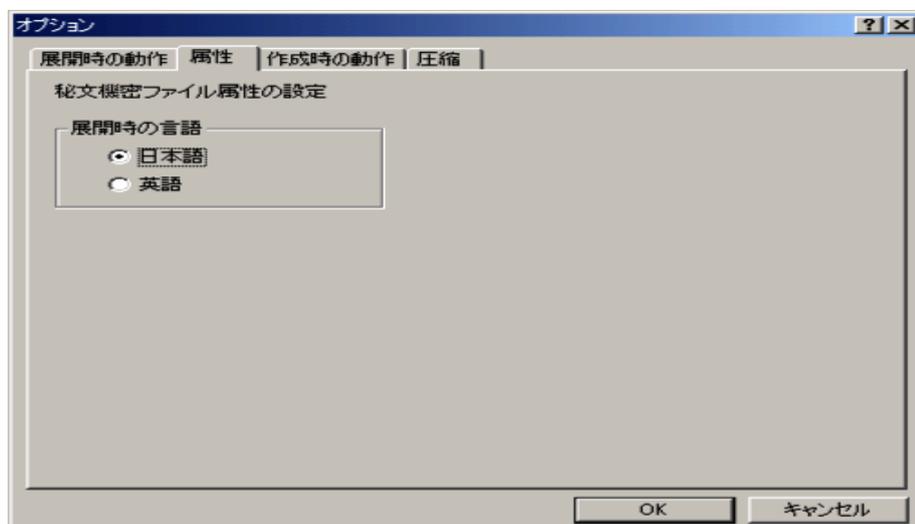
なお、[入力したパスワードが間違っている場合はファイルを自動的に削除する] のチェックボックスがオンになっていない場合は、チェックできません。

期限後に起動した場合はファイルを自動的に削除する

指定した期限を過ぎて秘文機密ファイルを復号しようとした場合、ファイルは自動的に削除されます。この項目をチェックした場合、初期値は 1 週間後の日付が設定されます。なお、期限に設定できる年の最大値は 2099 年です。

(b) 属性

(属性の設定)



展開時の言語

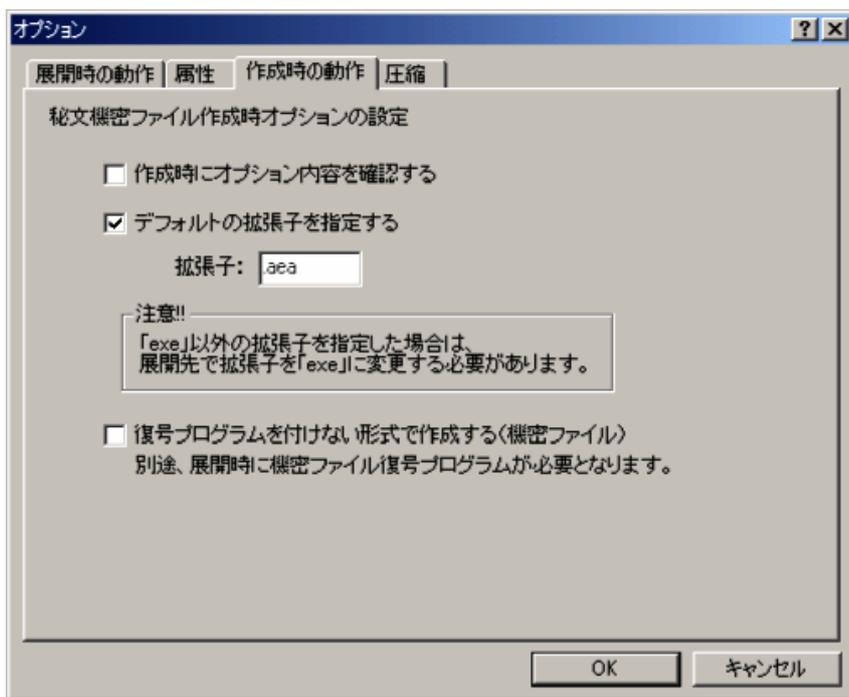
秘文機密ファイル復号時に表示されるダイアログメッセージの言語を設定します。

なお、機密ファイル復号プログラムで機密ファイルを復号する場合は、この属性は無視されます。

- 日本語：ダイアログメッセージを日本語で表示
- 英語：ダイアログメッセージを英語で表示

(c) 作成時の動作

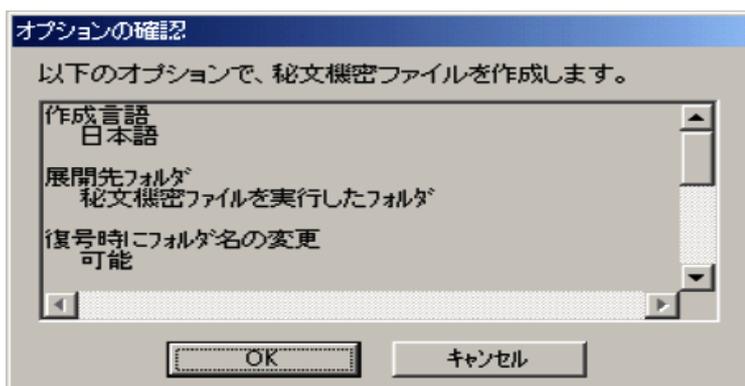
(作成時オプションの設定)



作成時にオプション内容を確認する

秘文機密ファイルを暗号化してメディアに保存するときに、オプションの設定内容を確認する画面が表示されます。オプションの確認画面を次の図に示します。

(オプションの確認画面)



デフォルトの拡張子を指定する

ファイルまたはフォルダをドラッグ&ドロップしたときに、自動生成される秘文機密ファイル名の拡張子を指定します。すでにファイル名が指定されている場合、またはすでに自動生成されたファイル名に対しては、本オプションを変更しても拡張子は変更されません。チェックボックスをオンにしない場合は「.exe」になります。

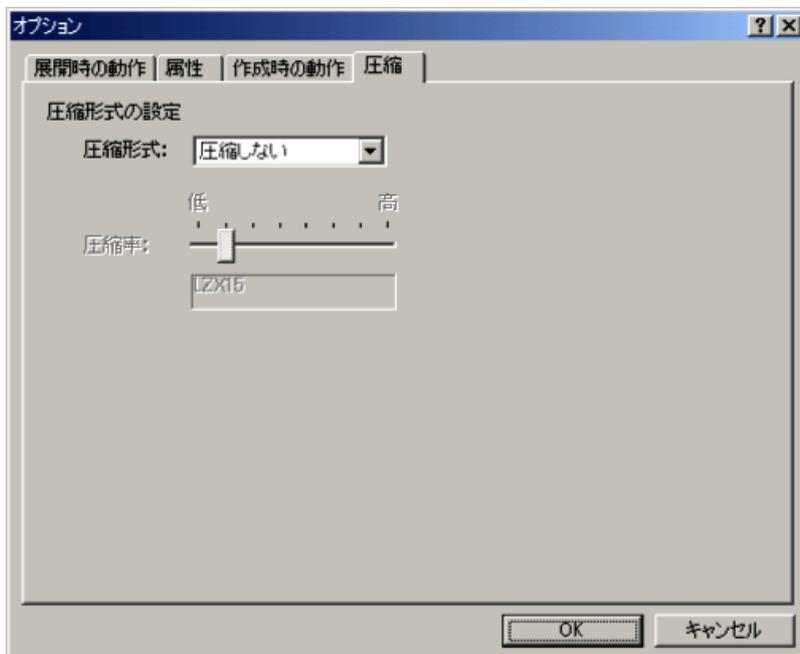
復号プログラムを付けない形式で作成する（機密ファイル）

復号プログラムを付けない形式の機密ファイルを作成します。

なお、[デフォルトの拡張子を指定する] のチェックボックスをオンにしない場合、機密ファイルの拡張子は「.aea」になります。

(d) 圧縮

(圧縮形式の設定)



圧縮形式

[圧縮しない], [CAB 形式] のどちらかを選択します。

[CAB 形式] を選択して秘文機密ファイルを圧縮しても、拡張子には「.cab」が付加されません。

例えば、出力されるファイル名は「プレゼン資料.ppt.exe.cab」にはなりません。

圧縮率

[圧縮形式] で [CAB 形式] を選択した場合に設定できます。圧縮率は、「MSZIP」、「LZX15～LZX21」の範囲で設定できます。スライダーのいちばん低い圧縮率が「MSZIP」で、次に低い圧縮率から最も高い圧縮率までが1メモリごとに「LZX15～LZX21」に対応しています。

(3) 自己消滅機能のデフォルト設定

[展開時の動作] タブの [自己消滅機能] の期限についての設定は、次回作成時に設定内容が引き継がれません。設定内容が初期値に戻るため、初期値と異なる値を設定する場合は、

毎回 [オプション] ボタンをクリックして設定する必要があります。自己消滅機能の期限について設定される値を次の表に示します。

(自己消滅機能の期限について設定される値)

設定項目	設定される値
期限後に起動した場合はファイルを自動的に削除する	無効
期限	現在時刻の 1 週間後

3.2 秘文機密ファイルの復号

ここでは、秘文機密ファイルの復号について説明しています。

3.2.1 自己復号型機密ファイルの復号方法

自己復号型機密ファイルを復号する方法について説明します。なお、以下の説明中の「展開する」という表現は「ファイルを復号する」ことを意味します。

(1) 復号するための前提条件

Windows の言語環境について

自己復号型機密ファイルの作成時、オプション設定で展開時の言語を日本語に設定した場合は日本語版の Windows 環境で展開してください。

展開時の言語を英語に設定して日本語版の Windows 環境で展開すると、日本語で入力した展開先フォルダ名は文字化けして表示されますが、入力した展開先フォルダに展開されます。

圧縮ファイルについて

自己復号型機密ファイルの作成時、オプション設定で圧縮形式を CAB 形式に設定した場合、自己復号型機密ファイルを展開するためにはシステムフォルダ内に「cabinet.dll」ファイルが必要です。

ファイルの展開先について

展開先フォルダ名として、UNC 形式のパス（例：\\¥¥SV1¥Data）は指定できません。ネットワーク上に展開する場合は、あらかじめ展開先のフォルダに対してネットワークドライブの割り当てをした上でそのドライブ名を指定してください。

(2) 復号手順

復号手順を次に示します。

手順

1. エクスプローラで次に示すアイコンの付いた自己復号型機密ファイルをダブルクリックしてください。



パスワードと展開先フォルダ名入力画面が表示されます。



2. パスワードと展開先フォルダ名を入力して , [OK] ボタンをクリックします。

展開処理進行状況画面が表示されます。途中で中止する場合は , [中断] ボタンをクリックしてください。



3. 展開したフォルダやファイルを確認します。

自己復号型機密ファイルに格納していたフォルダやファイルが手順2で指定した展開先フォルダに展開されます。

注意

- 復号先に同じ名前のファイルがある場合、そのつど、上書きを確認するメッセージボックスを表示します。上書きする場合は [はい] を、上書きしない場合は [いいえ] をクリックしてください。
- 自己復号型機密ファイルの復号中に [中断] をクリックして復号処理を中止した場合、復号したファイルは削除されます。復号先に同じ名前のファイルがある場合、上書きを確認するメッセージに [はい] と応答したあとで [中断] をクリックしても、上書きしたファイルは元に戻りません。
- 展開先フォルダに指定されたフォルダが存在しない場合、フォルダ作成を確認するメッセージボックスを表示します。
- フォルダを作成する場合は [はい] を、作成しない場合は [いいえ] をクリックしてください。フォルダ作成を選択した場合、作成されるフォルダは上位フォルダの属性を引き継ぎます。
フォルダ作成中にエラーが発生した場合、エラーが発生するまでに作成されたフォルダの削除を行いませんので、手動で削除してください。

(3) 復号に関する注意事項

- 自己復号型機密ファイル作成時のオプション設定で、[期限後に起動した場合はファイルを自動的に削除する] のチェックボックスをオンにしていた場合、設定した有効期限が過ぎている自己復号型機密ファイルをダブルクリックすると同時にファイルは自動的に削除されます。
- 自己復号型機密ファイル作成時のオプション設定で、[復号時に変更不可] のチェックボックスをオンにしていた場合、[展開先フォルダ名] は変更できません。
- 自己復号型機密ファイル作成時のオプション設定で、[入力したパスワードが間違っている場合はファイルを自動的に削除する] のチェックボックスをオンにしていた場合、パスワードの入力回数が設定値に達すると自己復号型機密ファイルは自動的に削除されます。
- 自己復号型機密ファイル作成時のオプション設定で、[書き込み保護メディア上では展開できないようにする] のチェックボックスをオンにしていた場合、次のような場所で自己復号型機密ファイルを復号しようとすると、エラーメッセージが表示されて復号が中止されます。
 - ライトプロテクトされているメディア
 - 追記できない状態の CD/DVD メディア
 - アクセス許可されていないフォルダ
- 元のファイルまたはフォルダの作成日時の設定は引き継がれません。展開したファイルまたはフォルダの作成日時は次のようになります。
 - 自己復号型機密ファイルが圧縮されている場合：更新日時と同じ日時
 - 自己復号型機密ファイルが圧縮されていない場合：展開した日時

3.2.2 自機密ファイルの復号方法

機密ファイルを復号して展開する場合、復号プログラムが含まれた機密ファイル復号プログラムを使用します。

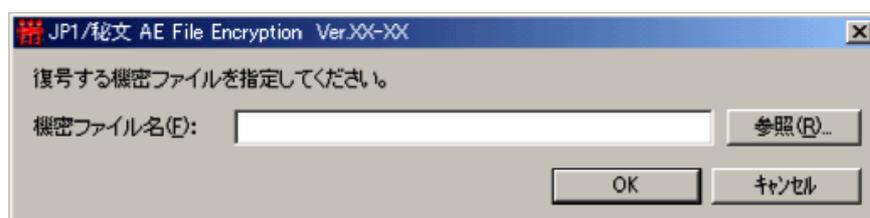
機密ファイルの復号手順を次に示します。

(1) 機密ファイル復号プログラムの単体での起動

手順

1. スタートメニューから [プログラム] - [JP1_秘文 AE File Encryption] - [機密ファイル復号プログラム] を選択します。

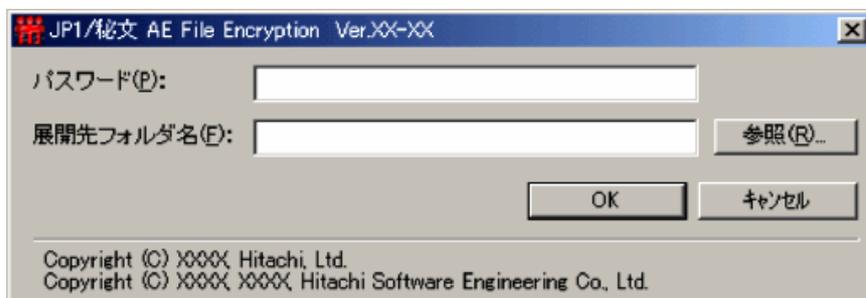
機密ファイル画面が表示されます。



機密ファイル名

復号する機密ファイル名を入力します。

2. 復号する機密ファイル名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。
パスワード認証画面が表示されます。



パスワード

機密ファイルを復号するためのパスワードを入力します。

展開先フォルダ名

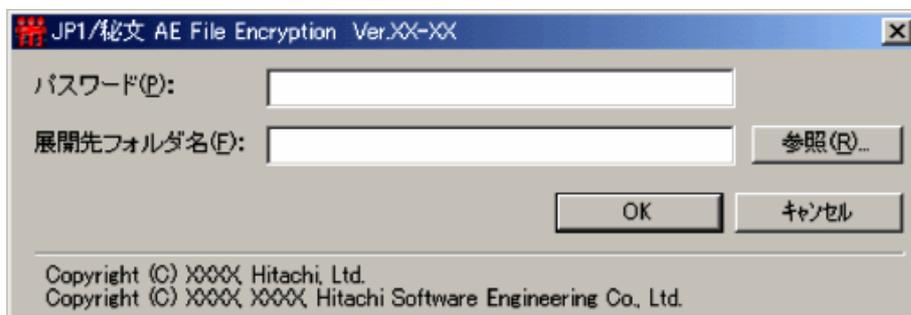
機密ファイルを展開するフォルダ名を入力します。

3. パスワードおよび展開先フォルダ名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードの認証を行い、[展開先フォルダ名] で指定したフォルダに展開されます。

(2) 拡張子関連付けでの起動

手順

1. 機密ファイル復号プログラムと拡張子 (.aea) の関連付けの設定をしている場合、機密ファイルをダブルクリックして起動します。
パスワード認証画面が表示されます。



パスワード

機密ファイルを復号するためのパスワードを入力します。

展開先フォルダ名

機密ファイルを展開するフォルダ名を入力します。

2. パスワードおよび展開先フォルダ名を入力して , [OK] ボタンをクリックします。
パスワードの認証を行い , [展開先フォルダ名] で指定したフォルダに展開されます。

以上